

■特集■

行政改革たざわこ清眺苑の  
民営化を語る。

 仙北市

議会だより

No. 13  
平成21年2月号



佐藤 峯夫 議長

### 今は誰もが将であり、参謀である時代

「人は城、人は石垣…」は「大事なものは何よりも人間だ」という教えの筈…。

昨年10月から本年3月の半年間に失職したか、職を失うことが決まっている派遣社員や期間従業員など非正規労働者は約8万5千人に上る見込み…。

## さつ

平成21年も2月に入りましたが、市議会だより13号は新年号です。2月の異称に「如月」と「初花月」などがありますが、初花という文字

# 今年に翔る

市民インタビュー  
年男  
年女

今年(うし)年です。

団塊世代の昭和24年丑年生まれが、還暦をむかえる年です。仙北市内の「年男」、「年女」の方に、議会広報委員が直接インタビューを試みました。6人の年男、年女の丑年に翔る意気込みをご覧ください。なおインタビューにあたった方は、浦山、田口喜、浅利、黒沢、青柳の5人の委員です。



### キャッチミー

佐々木 昭雄

これはドラマ「フルスイング」の一節である。一つの例だが、後期高齢者医療制度は福祉国家にあわないう人がいる。

戦後日本直直しの功労者が一番困っている。と村の古老から、中生保内が長寿なのは白滝の水を飲んでいからではないかと云われ、調査するこ

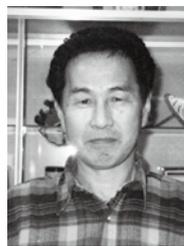


### 2009年に思うこと

浦山 ひろみ

新しい年、2009年をしんしんと降り続ける雪を見つめながら家族揃って迎えることができず。なによりもありがたく幸せなことだと思っています。

今年の干支は「うし」。12年ぶりの年女です。「うし」のように大地をしつかり踏みしめ、一步一步着実に歩み、前向きにがんばることが今年の抱負です。毎日学校で、子どもたちから元気パワーと「若さ」をもらいながら過ごしています。今年「うし」のようにつづらで慈愛に満ちた目をもちたいと思います。毎日学校でふれあっている子どもたちは、これからの仙北市を担っていく地域の宝です。子どもたちが未来に向かって大きな夢をもてるように、そしてその夢に向かってがんば



### 観劇

岡田 憲一

08年の世相を象徴する漢字に選ばれた『変』は、現在の社会・経済の様子をまさにシンボリックに現しています。私たちの世代は子育て、仕事、生活に毎日忙しく追われてきた24年生まれです。数年前から同期会の有坂会長がお正月に、わらび座の小劇場で、観劇する計画をしてくれまして、現在も続いております。忙しい中で劇場に足を運ぶ余裕すらなかった人生で、ゆつたりとした一年間を過ごすことが出来ました。今年の干支の牛といえどどんな光景を思い描くだろうか。ステーキ、焼き肉…、どかっと足を地に着けた泰然自若とし

# 初花月ごあい

## 一字違いで内容が異なる

議会だよりの校正作業の時に思い出すことがある。

余程前のことなのだが、秋田魁新報の投稿欄に、秋田米の宣伝文句の「美人を育てる秋田米」の「美人を」の「を」が「秋田米は美人に生まれついた人を育てる」という意味で「美人でない人」は育てないということになり、この宣伝文句の秋田米は「美人でない人」を差別することになる。

に魅かれ題字に選びました。佐藤肇夫議長と沢田信男議会広報委員長のごあいさつを掲載しました。本年も仙北市議会だよりをよろしくお願いします。

この「美人を育てる秋田米」は「美人に育てる秋田米」の間違いではないかという趣旨だったように記憶している。

広報委員は全員で、各委員が担当しゲラ刷りになった記事を、用語の選択などを協議しながら校正している。「を」と「に」のように一字違いでも内容が大きく異なる事にもなり兼ねない。お気づきの点をご指摘をお願いしたい。



沢田信男 広報委員長

イメージが強い。牛のよだれは、細く長く垂れるように地道に気長にと思っている60歳です。



2009年に翔る 黒沢 美鈴

勤めをしながら、子育て、農業、家事、介護と人並みに走り続け、今年5回目の年女。60歳の太台に乗る。

私にとって60歳とは「若い」を初めて身近に感じさせる響きがある。いくら気持ちちは「20代」と、負け惜しみを言ってはみても...である。

しかしながら、人生はまだまだこれから。ただ老いを重ねるつもりはない。今までの教訓を活かし、前向きに生きていきたいと思う。

2009年、今までもそうして来たように、好奇心のアンテナを張り、年相応のチャレンジ精神を持ち続けながら、自分らしく生きて行きたい。

そして今、これからの人生のスタートラインに立ったのだと考え、目指す道、目指す方向の「始点」を見つける年にしたいと考えている。



後継者が育つ 農業を夢に 高橋 和良

質 どういうキツカケから稲の直播を始めたのですか。

答 直播を始めたのは12、3年前にです。施設ハウスと米の複合経営ですが、種播きや育苗管理が省けるので、その間一ヶ月間、施設ハウスに専念できるという事から始めました。

質 直播の現状と課題については？

答 年ごとの反収にバラつきがあり過ぎ苦労している。直播時期を早めたいが、田圃への入水を早めると周囲の農家へ迷惑がかかるので、この課題が解決できると新たに取

り組む農家も増えて来るのではないかと思っております。転作カウントも当初の二割から一割に削減され反当収入でも普通栽培においつかないでいる。

質 今年の目標は？

答 施設ハウスも稲作も毎年初心に返った気持ちで取り組んでいる。若者が喜んで継げる農業経営に向けて、今年は年男でもあるので、心新たに挑戦したい。

す。春には二男も高校を卒業し、長男に続いて県外で学生生活を送ることになります。毎日の弁当作り、ユニフォームの洗濯など子育てから解放されます。しかし、不安もあります。しかし、不安もあります。夢に向かって歩む息子達を信じて応援し、見守っていきたいと思います。

また、私の年老いた両親も孫の成長を楽しみながら健康で働いています。介護の話題が多い中、何よりありがたい事だと感謝しています。

感謝の気持ちを忘れずに



古郡 里加

私にとって今年は大きな節目の年になります。実際に堅実に心に余裕を持って、感謝の気持ちを忘れないでいきたいです。

## 今年もよろしく 議会広報 特別委員会

沢田 信男  
真崎 寿浩  
浦山 敏雄  
田口 喜義  
浅利 則夫  
田口 勝次  
青柳 宗  
高久 五郎  
黒沢 龍己

# 転換期を迎えた 老人福祉サービス (座談会)

団塊世代が75歳に到達する16年後の2025年が高齢化率のピークといわれる。将来の福祉サービスに、今から不安を覚える方も多いと思うが、16年後どころか今の今、十分なサービスを受けられない人がいる。特別養護老人ホームの入所待機者が仙北市に130人もいるという。「特別養護老人ホームたざわこ清眺苑の民営化」の実施にあたり、転換期をむかえた老人福祉サービスについて、各会派代表による座談会を特集した。

## 必要な地元業者の育成？

(沢田) 仙北市として、いたと聞く。初の大改組行政改革だが、清眺苑の取組みについて意見・要望等を伺いたい。

(安藤) 清眺苑は平成22年に建設する構想があった。老朽化が著しく、維持補修費が高んでいたのを取り組みとしてはタイムリーな時期と思う。

(小林) 今回の民営化は、地元業者が受け皿になって進んでいく。地元業者が受けていく。説明は病院問題



(田口喜) 市民はなぜ民営化が必要かよく理解できていない。関係者には説明しようだが、市民に対する説明は病院問題



と同様に不足している。(浦山) 清眺苑の入所者の大半は田沢湖市民である。2〜3年後に移転改築の計画があるという

の意見が反映できるようなすべきと思う。(田口勝) 仙北市の財政からいって、直営の運営は無理だ。今後は民間の運営に切り替えるべきだ。

基本方針は定まっているが、仙北市の老人福祉行政の全体構想が不十分な中での取組みといえる。社協の位置づけが問題だ。

なぜ民営化が必要か？

(沢田) 市民は将来の老



人福祉サービスに不安もあるが、期待も大きいと思う。皆さんはどんな「カタチ」が仙北市の理想とご思いますか。

(浦山) 直営から民間へ移行するが、行政がどこまで関わりを持つか、チェックできるかが心配だ。

「カネも口も出す」という権能を一定期間もてると良いのではないか。

(田口喜) 民間移譲すると行政は直接関与できないと思う。今後は「民間でできることは民間で」が基本になる。私は大仙市のように「公設民営」

が理想と思う。(小林) 問題は民営化されてもサービスを現行どおり維持できるかだ。特に入所料金など基本部分はどうなるか不安がある。



移転新築までは入所料は直営時と変わらないが、新築になると相部屋方式から個室方式に切り替わり、入所料金が値上げとなるなど負担が増える。

(安藤) 建物の所有は仙北市で、運営は福祉法人という「公設民営」の場合、国・県の補助金はどうか。またこれまで臨時で雇用されてきた人は、正社員化する話だ

(田口勝) 特別養護老人ホームという施設は、今後直営方式はありえない。

仙北市が総合的な計画をもつて民営化を進めるべきだ。

民営化によるメリットは？

パートの社員化は業者と協定を結ぶべきだ。民営化によるメリットは？(沢田) 民営化され、新築すると入所料金がアップすると思うが、選択出来るカタチが望ましい。そんな意見が反映できるか心配だ。ところで民営化することで仙北市の経費はどの程度削減されるだろうか。(浦山) 特別養護老人ホーム清眺苑と桜苑、老健施設にしき園の会計は仙北市介護保険特別会計だ。職員は他の施設や部署に異動するので介護収入のあるところに移動する職員の給与額は変わらない。臨時職員分の人件費、維持補修費も削減となる。ここ三年間の一般会計から繰出している金額は二三〇〇万〜二八〇〇万円だが、この分は削減できると当局は試算している。13億円を想定した建設費がかららない。

# 今後、在宅介護で対応できるか？

**(沢田)** 仙北市の老人福祉サービスの将来の方向は在宅介護が中心になるが、条件整備が必要になると思う。今後の見通し等を含めて伺いたい。

**(田口勝)** 行革特別委員会への説明では、寿楽荘について今年度中に方向付けすることになっている。残る桜苑、にしき園の民営化は、平成24年度までを期限としている。清眺苑はモデルであり、問題点等を洗いざらい出して、今後の福祉計画に意見反映すべきである。

**(小林)** 清眺苑の民営化で職員の配置換えが伴うが、同じ介護員であっても給与体系が違う。桜苑は一般職であり、清眺苑は技術職となっている。全く同じ仕事をしていても処遇に格差がある。格差解消は大きな課題だ。

**(浅利)** 田沢湖高原にある清眺苑の移転改築先は田沢湖周辺と説明があった。環境は重んじなければならぬが、入所者の家族や勤務する職員の通勤等を考えるべきだ。内陸線存続にあつては、沿線振興計画が話し合われた。その沿線に福祉施設を集積したらどうか。

**(田口喜)** 現在入所待機者が130人もいる。正直言つて今すぐ入所施設が必要である。民間か直営かある。方向付けは良いが、現実問題をどのように解消するか。在宅介護を押し付ける前に、家族が納得できるような具体策が必要でないか。



直営か民間か



とも仕事の関係や住宅事情によつて不可能な人もいると思ふ。したがつてグループホームなど施設に預ける人も増えている。施設や住宅の改修支援など具体的な対策が必要である。

**(安藤)** 在宅介護したく

る。希望を見出すようなお話をどうぞ。



在宅どちらにしても介護が必要な時

**(浦山)** いずれ施設、在宅どちらにしても介護が必要な時

が自由に選択できて安心して暮らせる体制を構築するには、国、県はもちろんだが、仙北市も重点的な財政措置が必要であり、議会はもっと意識的に取り組む必要がある。

**(小林)** 財政難を理由に民間移譲して、入居者および家族に負担を及ぼすようでは、仙北市の福祉は万全ではない。財政の効率化を考えるなら、今後は町内会単位でキメ細やかな福祉サービスを打ち立てるべきである。その支援を考えたらどうか。

**(安藤)** 「合併特例債は利用できないだろうか」と質問したことがある。当局は「実質公債費比率が20・2%を超えているので、むやみに特例債は利

用できない」と答えた。

福祉は最も身近なものであり人助けである。政治決断できなければ問題は解消しない。今後、議会が求めなければならない。



平成24年度まで民営化予定のかくのたて桜苑

**(田口喜)** 例えば施設を新たに建設するとすれば10億円以上はかかる。しかも運営経費もかかる。これらを民間負担に任せることになる。これを考えると削減できた経費分を福祉事業重点に充当したらと思う。いずれお金を使い方によつて、より良い福祉サービスが実現できる。

**(浅利)** 田口喜議員が言うとおりだ。これを「制度化」あるいは「条例化」することで、仙北市の高福祉サービスが可能になると思う。議会の今後の大きな役割と心得ている。

**(田口勝)** 福祉を自分の問題ととらえ、議会全体で考える必要がある。誰かが言っていたが、町内会単位で取組む、きめ細かさの対応が必要だ。隣近所の元気なおばさんが「下駄はきヘルパー」として活躍しているとあるそうだ。

**(沢田)** 考えてみると仙北市に大きな企業が来るわけではない。また若い人の働く場所を確保するにも限度がある。ならば「日本一の福祉のまち」を目指し、若い人達が少しでも良い条件で、福祉事業に従事できる仕組みを考えたいと思う。その方向に向かって議会は今まで以上に努力することが必要と思う。これで座談会を閉じます。



民間施設の清流苑

## 自由に選択できる制度に

**(沢田)** 将来の老人福祉サービスのあり方については、何か寂しい気がす

# 「不認定決算」 一月例会

「世界の経済が同時不況に陥るのは100年に一度」という。昨秋以来、アメリカや日本の大企業の大半が瞬く間に苦境に立たされ、世界経済は大混乱している。

国会も県議会も不況対策について、具体的な財政支援や労働者の救済を進めている。仙北市においても光学レンズなど製造業の事業所で受注が減り、パート従業員の解雇や正規社員の賃金抑制などが生じている。また会社や商店の破産、倒産も相次いでいる。

対応が注目された12月議会だったが、「歳出削減の方針に変わりない」という石黒市長の考えに、議会は具体的な対応策を早急に示し、臨時議会を開催するよう申し入れた。

提案された議案は、専決処分報告4件、条例改正が15件、19年度一般会計等決算認定が12件、20年度補正予算10件、公の施設の指定管理者関係が12件、追加案件として教育委員選任と市長・副市長の給与条例改正の案件である。

## ■軽自動車税、納期が変更

市税条例の一部改正は、軽自動車税の納期末の変更で、4月30日から5月31日に変更された。

## ■特別養護老人ホーム清眺苑を民営化

平成21年4月1日からたざわこ清眺苑が民営化され、「県南ふくし会」が運営することになった。直営の特別養護老人ホームはかくのだけ桜苑

だけになる。

## ■歯科診療所および診療所条例の一部改正

二つの診療所の文書料が改正された。普通の診断書は1,575円から2,100円に、複雑な診断書（保険提出等）は4,200円が、5,250円になる。

死亡診断書は現行3,150円から、4,200円に改定された。

## ■国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金が、現行35万円が38万円に改正。改正条例の実施は平成21年1月1日。さらに

国民健康保険診療所条例の診断書等文書料も改定された。

また、これまで国民健康保険税の納期延長を求めてきたが、来年度からこれまでの6回から8回に変更され、納期末は2月末となった。

## ■企業立地の促進等による産業集積の形成および活性化に係る固定資産税の課税減免に関する条例の一部改正

これまでは固定資産税の課税免除対象額は3億円以上だったが、これを2億円に改め、農林漁業関連業種は5000万円に改めた。

## ■消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

団員の定年を65歳に改正し、公布の日から施行。  
■病院事業使用料、手数料徴収条例の一部改正  
改正点は「分べん料」の時間内、時間外等料金の改定。さらに文書料の料金改定内容である。分べん料の実施は平成21年1月1日。

## ■平成20年度一般会計補正予算

歳入、歳出  
1億341万4千円が追加補正された。  
歳入では地方交付税の3億5565万4千円と国庫支出金が主なもの。基金繰入金3億円、市債2,580万円は減額。歳出で主なものは、民生費7492万円と総務費3676万円、消防費2075万円である。

商工費、教育費、農林水産業費、衛生費は減額補正された。

民生費は2330万円が生活保護費、農林水産費は花葉館の施設整備費で、2536万円でポンプや給湯ボイラーの整備。

教育費は学校の工事請負費（旧校舎解体）が大幅に減額となった。一般会計補正予算は、経費削減型の補正予算であった。

議案質疑では総務費の財産管理費、パート職員の手当支給、花葉館の施設整備費、財政調整基金、土地売却などの質疑が交わされた。



# 「平成19年度一般会 —平成20年12



## ■平成20年度特別会計補 正予算

仙北市の特別会計は11あるが、12月議会で補正額が大きかったのは、国民健康保険特別会計である。5026万円の補正で、高額医療費共同事業拠出金と保険財政共同安定化事業拠出金に充てられた。

## ■市有財産の無償譲渡

特別養護老人ホームたざわこ清眺苑の施設等財産を「県南ふくし会」に移譲する議案。詳細は4P、5Pをご覧ください。

## ■大半の施設は公募なく 前回どおりの指定

公の施設の指定管理者指定は今回12の施設について行なわれたが、制度導入の際に議論された「公募による競争」は新規に指定された勤労青少年ホームと角館交流センターのみで、他の10ヶ所は公募もなく従来どおりの指定となった。

## ■市長、副市長の1月の 給料を減じる条例改正

議会最終日に追加提案された条例改正である。理由について食い違いが見られた。

市長は「特養桜苑の不祥事の監督責任」と答弁。総務部長は「桜まつり駐車場料金の不適正な取り扱いなど一連の問題の措置」と答え、食い違った。

## ■地域経済活性化求める

12月議会に何ら具体策を示さなかった当局に、「対策本部の設置」、「緊急予算措置」、「金融機関等関係者協議による具体策」、「公共事業の前倒し」などを求める議会決議を全会一致で可決した。

## 平成19年度一般会計等決算特別委員会

### 桜まつり臨時駐車場料金問題で、 一般会計決算は不認定

財政健全化に危機感と責任を！

「広報せんぼく」一月号に不認定となった19年度決算状況が記載されている。12月議会で全会一致でこの決算を不認定とした。また財政指標も掲載されているが、議会だよりと比較してくださ

い。

平成19年度一般会計は、桜まつり臨時駐車場料金の不適切な取り扱いがあり、一般会計に入るべきお金が入っていないことを当局は認めた。結果的にこのことが「不正」となり決算は不認定となった。次に財政指標だが、財政硬直化を示す経常収支比率が、92・9%で標準80%を大きく

上回っている。実質公債費比率18%を超えると地方債許可団体となるが、19・5%の仙北市はすでに対象団体となっている。公債費負担比率は20%が危険ラインであるが、仙北市は23%である。議会議案終了前に「広報せんぼく」の文書作成をしたと思うが、当局も認めた不認定決算を市民にどう説明するのか。

19年度決算で市税収入

は、税源移譲でやや伸びたが、地方交付税に頼る傾向は変わっていない。先ずは市税の収納率向上を図ることである。市税3億4700万円、国保税3億2000万円、滞納繰越がある。仙北市は人口減少や高齢化、大きな産業がないことが、税収が少なく財政基盤が弱いことにつながっている。税収を増やす即効薬はないが、中長期的見通しの施策が大事

だ。例えば市有財産の遊休地の利活用である。固定資産税の増収、定住人口を増やす施策になる。次に他に遅れをとる雇用の場づくりを活かすべきだ。

さらに仙北市の産業振興に係る予算が、地場で働く人々にいかに直結しているか。市民が豊かにならなければ市の財政は好転しない。財政を豊かにする施策に全力を上げなければならない。

# 一般質問

今回の一般質問者は佐藤直樹、大石温基、戸沢清、八柳良太郎、高久昭二、黒沢龍己、小林幸悦の7氏がそれぞれの所属会派を代表して、当局の考えを問いついた。その内容は「駐車料金」、「地域センターのあり方」、「市長の姿勢」、「企業誘致」、「本庁舎建設問題」、「堆肥センターの建設」、「第三セクターの一元化」等を中心に一般質問を展開したが、当局答弁はいつもどおり「検討する」という聞きなれた答弁が多かった。

## 市営の駐車場料金を協力金をプラスせよ？ 他の例を参考に検討する！



### 佐藤直樹

**質問** 仙北市の観光施策について伺います。1点目は市営の駐車場料金だが、一般奈良県の吉野町に視察に行ってきた。大型バスは駐車料金が3,000円で7,000円が協力金。合わせて10,000円

である。

普通乗用車も駐車料、協力金合わせて1000円だった。交通渋滞対策や山桜の維持管理費等もまかなう料金だった。本市も国交省の公共交通活性化制度を調査の上、対応を検討したらどうか。

2点目は桜の木の一ナー制である。今、果実等は全国的に、体験型、参加型の観光に切り替わってきた。話題を提供する意味でも桜のオーナー制は考えられないか。



年間3,380万円収入の桜並木駐車場

**答弁** 駐車場料金についてはいろいろな意見がある。目的に沿った料金を頂戴することは理解されにくいと判断しているが、現状をベースとして他の例を参考にしながら検討したい。また質問にあった樹木医の後継者だが、教育委員会に対応をお願いしている。

**質問** 次に防災計画について伺います。先に手渡された仙北市の防災計画書には、防災無線について、神代と角館地区は整備されていない。今後の計画もなかったと思うが今後どうするか。

**答弁** 合併時に地域のアンバランスについて話し合われた。今、

総務省がデジタル化の推進を指導しているので、その際に全面対応を考えていきたい。

**質問** 行政改革の財政効果について伺う。25施設について指定管理者制度の導入をしているが、財政効果はどの程度か。

**答弁** 効果については管理委託の時と指定管理者指定ではまだ大きな差はない。しかし年を追って効果は出ると考えている。例えば角館交流センターは、これまで人件費と管理費で約2000万円の経費だが、指定管理者指定すると委託料が約1300万円となり、700万円の節減となる予定だ。

**質問** 今話題の定額給付金についてだが、仙北市の対応について伺う。

給付される総額は大体どの程度か。所得制限はない。

## 本市の危機管理を問う？ 職員体制の仕組みづくりをする！



### 大石温基

**質問** 地域センターのあり方について、各センターにおいて住民の要望に対する対応に不公平感が感じられるため、各地域センターを一本化するべきではないか。

**答弁** 地域センターは分庁舎方式のため、本課のない部署の不便解消のため、各センターに総合窓口課の設置により現在一本で進めている。地域センターの一本化については、設置の経緯、目的があり各センターで起きた事例をもとに対処、解決の仕方につ

どうするか。

**答弁** 仙北市としては、試算していないが、約4億円程度と考えている。所得制限は考えていない。

いて情報交換をして、共通化、公平化に努めている。その上で一本化のメリット、効果が期待できるものであれば検討したい。

**質問** 奨学金制度を充実させ、仙北市の医師確保に取り組みすべきではないか。

**答弁** 仙北市は奨学金総合病院では現在一名の方に支給しており医師免許、取得後、角館病院で研修医として研修を受けることと、一定年限、勤務する条件を付し、将来に向けて医師確保の制度を設け進めている。

**質問** 上水道の未供給地区へ安全な飲み水の供給と、集落排水事業で環境整備をすべきではないか。

**答弁** 神代地区へのアンケート調査において、上水道事業に加入する方々は非常に少なかった。安全な水を供給することは、必要であり、現在角館浄水場の高速ろ過機の整備を順次すすめている。神代地区への供給のため、住民へ必要性の認識を高める努力を行い、事業につなげていきたい。

**質問** 仙北市の不登校の現状と対策について伺う。

**答弁** 不登校の現状は小学生はわずかであるが中学生になると10数名という状況である。不登校が再登校にこぎつけると、新たに不登校が出てくるという一進一退を繰り返している。中学生の特徴として思春期の急激な変化から来るもので、特に対人関係、進路の悩みなどが多い。対策として、保護者と学校、スクールカウンセ

ラーの連携により対応指導を行っている。不登校により学校に行けない間、学習をサポートするため「さくら教室」を開いて学習が遅れないよう相談員を中心に子供達と一緒に進めている。

**質問** 仙北市の危機管理対策について伺う。

**答弁** 役所は役に立つて初めて役所であるとの気持を忘れず、今起きている事象に対する対応能力だけでなく、起こる可能性を洞察でき

る体制を整えたい。職員自ら課題に対し、先取りして進展していく

対応能力を上げる職員体制の仕組みづくりに取り組んでまいりたい。

十分検討吟味して結論出したしたい！



戸澤 清

## 観光部の独立は？

十分検討吟味して結論出したしたい！

**質問** 地方分権により市における自己決定権と自己責任の拡大がなされた。従って市当局と議会の果たす役割と責任も益々大きくなって来ている。合併後の新市を市民生活の安定の為にどう着実に進めるかと、大変な時であり、総力結果で向かわなければならぬ。

それには市当局と議会の連携関係がポイントであるが、今の状況ではその構築がされていないと感ずる。議会との連携による総力結集という観点から市政推進について市長の所見を伺う。

現在の産業観光部を「産業」と「観光」をそれぞれ独立させた形で取り組みの強化を図らなければならないと思う。産業と観光は仙北市にあって最も重要な分野の一つで、政策の要である。産業観光部を産業部と観光部に改編し、各々の活動や情報収集・発信をし充実を図った上で連携を取る方が、はるかに実面でやり易いのではないのか。所見を承りたい。

分庁舎方式の中間で産業観光部としては西木庁舎にあって、そこには農林課がある。一方観光課と商工課は角館中町庁舎にあり、その組織の運営の仕方、あり方についての課題を抱えていると認識している。行革、組織のスリム化という方向の中で、出来るだけ部はふやさない方向でいきたい。

観光部の独立については政策調整会議等の中で十分検討、吟味して結論を出していきたい。

観光部が継続基幹産業の農業について、地域主導で思い切ったやり方をする時代に果たと思う。新年度では農業に重点を置いて集中した取り組みが出来ないのか。

産業連携による市の活性化を図るとい事の中では、基幹産業の農業、この生産をいかに観光産業を通して生かして行くか、という中においてやはり観光と諸産業を一体の部の中で進めた方が良いのでは、と強く思っている。

仙北市は何と云っても農業が中心の地域であり、それいかに地域の経済に生かしていくか、という事で産業連携を取り組んでいる。市単独で出来ない部分も多いが、集中と選択という方向で農業を取り上げてまいりたい。



市民の安全を守る環境防災課



検討されるか？観光部

# 企業誘致懇話会の設置を？

必要性は感じている！



## 八柳良太郎

**質問** 秋田県が主催する企業誘致の働き

かけに、仙北市も参加しているが、どのような考えで対応しているか。また仙北市として物産開発や起業に関し、どのような取り組みをしているかを伺いたい。さらに東京かくのだて会に働きかけ、本市出身の企業人等による企業誘致懇話会設置を試みたらどうか。

**答弁**

企業誘致活動に仙北市はこのたびも参加し、各企業にアピールする機会をいただいた。特に仙北市の景観や交通アクセスの良さを訴えることができた。また誘致に関する優遇措置など条件等も説明し、企業に呼びかけた。

次に起業に関してだが、アグリビジネスの支援を行ない、米パンやそば屋など具体化した。今後も農林産物の販売増をめざし、JAや商工会とタイアップして全体の底上げを図りたい。

企業誘致懇話会設置の必要性は十分理解できるのでその方向で取組みたい。



相模鉄道の二俣川駅で行われた山の薬市

**質問**

観光振興について何うが、一つはテニミリオン計画に関してだが、プロジェクトの取り組みは成果が上がっているのか。今期の観光客数の動向をどのようにみているか。平成22年度の目標は100万人増の720万人としているが、具体策は何かあるのか。また観光にも施設観光や行祭事別観光などあるが、それぞれの目標を設定しているか。

観光客数を増やすには、観桜会に匹敵する秋のイベントが必要と考えるがその点はどうか。現在の産業観光部体制では、経済効果を生み出す責任ある部署とはいえない。観光部と産業部に分離したらどうか。

**答弁**

観光対応については、「民」が主体で行政が支えになることを理想としている。このたびの男鹿和雄展の成果によって、そのことを深く認識している。今年の観光客の動向は16%の減少であり、その

要因は桜まつりの減である。いずれ観光客対応については、地道な運動の積み重ねが必要と承知している。

秋のイベントの必要性については観光協会もその対応を現在行っている。

観光部については来年度の組織体制のなかで検討したい。

## 旧角館東小学校を仮本庁舎としたらどうか？候補の一つと考えている！



## 高久昭二

**質問** 市民の利便性や市政の効率化を考えると分庁舎方式は早く

改めるべきでないか。この件についてはまだ検討中というが、旧東小を仮本庁舎としたらどうか。

次に不況下の雇用創出について、企業倒産による失業者の増や不況によるリストラなどにより、雇用状況は正規社員、非



本庁舎設置なるか旧角館東小学校

**答弁** 分庁舎方式に不具合が生じているので本庁舎新設について検討している。方向性について早い機会に検討委員会での報告をいただき、今年度中に場所と時期を明らかにしたい。旧東小もその一つであるが、整備が必要である。現在の分庁舎と変わらない状態の対応は考えない。

雇用対策について、県の対応は承知している。仙北市もその必要性は感じている。市内の企業も生き残りのためリストラを進めており、求職者は増えている。仙北市としてはまだ対策本部設置を検討していないが、他市の動向を確認し、設置等について判断する。また

次にあと9ヶ月で市長の任期切れとなるが、出馬か否かについて率直な気持ちをうかがいたい。来年度予算編成にあたり、基本的に方針に違いが出ると思うがいかがか。

事業発注の前倒しだが、市の財政状況から今は考えていない。

**質問** 仙北市の生活保護行政のあり方について伺う。住宅資産活用による長期支援資金制度の利用について再三申請したが、仙北市福祉事務所は認めなかった。その理由がわからない。なぜか。また個人情報開示についてだが、国保税の一部減免措置を仙北市に求めたが、申請書類を面前で破棄された市民がいる。この事実を市長は知っているか。

**答弁** 住宅資産活用の生活保護者長期支援資金制度を仙北市で申し入れた件数は4世帯ある。不動産鑑定をした2件は該当外となった。もう1件は家族で対応することになった。残る1件は該当するが申請を拒否したものであり、仙北市が拒んだ事実はない。

個人情報関係についての質問だが、市長は承認していないので改めて確認したい。

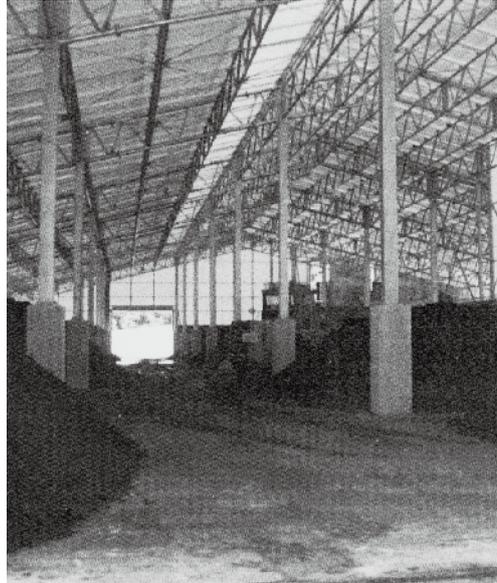
## 仙北市に堆肥センターの建設は？ 今後検討する！



### 黒沢龍己

**質問** 畜産農家の活性化と有機農業の推進について、平成21年から大幅な肥料等の高騰により、水田、畑作農家はこの先の経営を大変心配している。

こうした中、最近、食の安全、安心な農作物が非常に好まれている。今後はそれに付加価値を付



仙北市にも必要な堆肥センター（写真 美郷町）

けるためにも、循環・環境保全型農業が見直され、大切に考えられる。農業は、水田であれ、畑作であれ、基本は土づくりが一番大切なことである。そこで市の畜産堆肥を有効に、かつ有機肥料を土づくりとして市民に手軽に使っていただき、安全で安心な農作物を生産する施策として堆肥センターの建設について伺う。

**答弁** 最初に畜産農家の活性化と有機農業の推進という観点から堆肥センター建設の提案があったが本年も農業委

員会からの建議書ももらった中に堆肥センターについてのこともあり、意見交換をした。市単独での施設を作るということではなく、畜産農家、農業者団体、農協等のこれに対する必要性、要望など十分調整しながら整備を進めていくことが最良であると思いい、今後検討していく。

**質問** 農村の生活環境と農地生産基盤整備の確保について、農村環境事業として、農地、水、環境保全向上事業対策についての情報がままたちでわかりづらいし、知らないでいる地域も多々ある。農業に従事している方々の高齢化が進み、水田の維持管理、景観保全がますます悪くなってきた。市単独でも何らかの支援する必要があるのではないか。市長の考えを伺う。

**答弁** 農地、水、環境保全向上事業対策の件であるが水田面積4千数百ヘクタールの中で約半分ぐらいは、この恩恵を受けていない所があり、ここを、どのよう

にして救うかについては今後十分検討していく。又基盤整備の関係については、現在西木地区で、平成21年度までの事業として農道及び、農業用排水路の整備を進めている。21年度で終結する予定となっているが、今後

可能性を検討する！  
**第三セクターの一元化を？**



### 小林幸悦

**質問** 第三セクターにおいて、経営の形態が類似している会社（花葉館、西宮家、西木村総合公社、アロマ田沢湖）について、効率的な運営が可能となるように一元化し、各施設での事業の明確化した役割分担を図り、特色を生かした経営により自立できるような対策を考るべきと思うが。

**答弁** 現在まで、第三セクターの総合力

仙北市として基盤整備事業についてどのように取り組んでいくかということについては、21年度西木地区事業が終了する前に受益者負担のあり方も含めて検討しなければならないと思っている。

を出すとの意味で取組みはしてきている。現在第三セクター協議会を設立し、営業など共同で出来る部分については連携して行っている。経営体制の一本化については今後、その必要性や可能性を十分検討して進めたい。

**質問** 市の遊休資産（土地）において、現在その利用や処分について具体的に協議中のものはあるのか。

**答弁** 未利用財産等の利活用検討委員会を設置し、調査、検討を行っている。現在は、三ヶ所の資産（旧JA雲沢支所跡地、旧神代診療所跡地、仙岩団地分譲地）については、条件が整えばすぐ

にでも処分をする方向で考えている。

**質問** 角館駅前の旧角館農協より取得した土地については、定住対策の観点から若者向けの分譲地として整備すべきと考えるが、この土地の具体的な利用計画はあるのか。

**答弁** この土地は県道広久内角館停車場線の踏切改良や道路拡幅に伴う代替用地として土地開発公社を通じて取得したが、現在その必要性は薄くなっている。償還が平成24年度までとなり、早急に処分することは無理があると考えている。宅地造成による利活用は、定住対策の一つの方策と捉え、そのことも考慮し、未利用財産等の利活用検討委員会で具体策を詰めて行きたいと考えている。

**質問** 木質バイオマスエネルギー事業の実施の見通しは。また、事業実施と併せ、木材資源の枯渇対策のために、二酸化炭素の吸収力が強く生育が早い「柳」などの植林事業も実施する必要があると思うがどうか。



若者の定住に活用すべき菅沢JA跡地

**答弁** 西木町クリオン周辺での事業化については平成21年度に実施の予定で取り組みたい。

**質問** 国からの通達で、資格証明書の発行が5世帯で6人の子供が無保険状態になっている。中学生以下の子供には、正規の保険証を発行すべきと思うがどうか。

### 子どもの無保険状態をどうする？ 正規の保険証発行すべし！



### 浅利則夫

**質問** 国保税滞納世帯に資格証明書が発行され、5世帯で6人の子供が無保険状態になっている。中学生以下の子供には、正規の保険証を発行すべきと思うがどうか。

**答弁** 国からの通達で医療費の一時払いが困難であるとの申し出をした場合、保険税を納付することができない特別な事情に準ずる状況であることを考えること。資格証明書の発行が納付相談の機会を確保することの目的であることなどから緊急的な対応として、短期被保険者証の交付に努めることの通達が出ている。仙北市としてはこれに照らし合わせ短期被保険

者証を発行している。正規の被保険者証発行の予定はない。

**質問** 福祉灯油今年も実施すべきだ。所見を伺う。

**答弁** 昨年12月の灯油価格は1リッター100円程だったが現在は70円から68円位だ。現在は福祉灯油の支援は考えていない。今後大幅な値上がりの時点では検討する。

**質問** 民間住宅の耐震化について仙北市の取り組みを伺いたい。

**答弁** 先に、仙北市地域の防災計画を策定したが耐震改修計画の策定は平成22年度に考えている。中学校の耐震補強工事は平成21年ですべて終わらせる予定である。幼稚園の田沢、生保内は耐震基準が現在の基準に変わった後の建設であるので問題ないと考えている。

**質問** 神代幼稚園は木造平屋建てで、耐震診断が必要建物に該当しないが施設

設の老朽化等の状況を見ながら所要の工事を講じていきたい。

**質問** 西木地区、過疎地域自立促進計画の進捗状況と、計画の中のプール、総合グラウンド建設のスケジュールについて聞きたい。

**答弁** 計画の進捗率としては46・3%である。この計画は合併以前の西木村の計画だった。

その後西明寺中学校のグラウンドが狭隘なことから、西木総合グラウンド検討委員会の中で、西明寺中学校の野球場を野球が充分出来るグラウンドとして建設するという答申をいただいている。21年度に実施設計業務を



新設が改修が検討されるクリオン温泉プール

## 市民の皆様へ

次回の議会の定例会は  
2月下旬の予定です。  
ぜひ傍聴に来てください。



行うことで調整を進めている。プールは改修して使う可能性も含めて検討中である。

# 常任委員会 だより



## 総務常任委員会

総務常任委員会に付託された案件は議案11件陳情1件継続審査中の陳情1件で計13件である。

### 仙北市生保内財産区 管理会条例制定につ いて

**問** 改正前条例は旧田沢湖町当時に制定された条例である。なぜ3年も暫定条例で行って来たのか。



財産区の事務を取り扱う地域センター

**答** もと早く制定できなかったのか。  
**答** 選挙に関しての改正があった時に改定を行うとの合併時の申し合わせにより、今回の条例制定をお願いするものである。

### 平成20年度仙北市一般会計補正予算（第3号）

歳入13款総務費国庫補助金について

**問** 地域活性化・緊急安心実現総合交付金で小中学校に10台、公の施設に5台AEDを入れる計画となっている。これで市内全部の小中学校に配置完了となるのか。

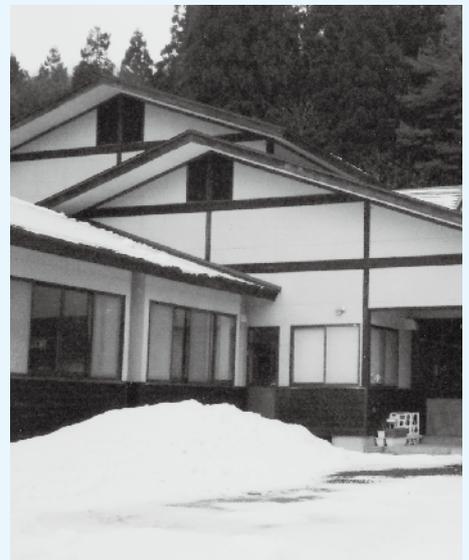
**答** 既に小中学校2校に配置されている。残る10校に今回配置することにより、すべてに配置され

ることになる。

### 15款利子及び配当金

**問** 基金の利子が0.3から0.4パーセントとなっている。地方債補正で借りる場合は4パーセント以内となっておりかなりの開きがある。実際はどれくらいの率で運用されているのか。

**答** 地方債補正の利率は4パーセント以内と予算上では設定されている。今は利率が一ヶ月単位で増減している状況である。なぜ4パーセントの高めで設定しているのかは実際に借り入れる時期にこのパーセンテージを上回っては借りられない状況でありそれらを勘案して設定している。



新年度予算で改修なるか  
下延コミュニティセンター

### 歳出 2款 統計調査

**問** 各自自治体で雇用対策経済不況対策等対策本部を設置してやっている。色々な面で12月補正に数字を上げてがんばろうとしているが、仙北市では見られない。適確に今の社会情勢に対して動く体制を取るべきと思う。産業経済だけの問題でなく総合対策本部的なものを設ける考えはないか。

**答** 今現在では対策案を考えていない。このような状況なので今後市長副市长、関係者として検討し何らかの対応を考えていきたい。

### 公の施設の指定管理者 についての（下延コ ミュニティセンター）

**問** 床面が悪い状態にあるが整備する考えはあるのか。

**答** 湿気の影響で床下の部分がかかなり傷んでいる。新年度予算の中で対応等について考えていきたい。



## 教育民生常任委員会

特別養護老人ホーム清眺苑を民間に移譲する為の条例改正など、一連の3議案を一括審査

**問** 移転改築する特に選定基準の中で、田沢湖エリアを限定しているが、その基本的な考え方は。答 これまで旧町村エリアに配置した経緯がある。老人福祉施設を一極集中させるのは芳しくないという県の指導がある。

**問** 仙北市として新しいまちづくり構想で、福祉について例えば内陸線沿線に一つのエリアを設けるなどは出来ないという県の指導か。

**答** 旧町村エリアで構築したので、旧町村単位でやるのが望ましい。何十キロも移動するのは好ましくないとのことだっ

た。

**問** 移譲先候補選定では計画書等で評価されたと思うが内容について事前に告知されていたのか。

**答** 審査項目に基づき書類を提出されている。提出書類でたりないところはプレゼン（口答）で聞いている。

**問** プレゼンの中の文言のやりとりは文書で契約を交すということはないのか。

**答** 基本協定書を交して



清眺苑

いる。その中で申請書の内容、プレゼンの内容について着実に実行することと書かれている。

**問** 清眺苑の正職員21人が他の施設に異動なるとのことだが、この人件費給料手当等あわせて一億二千万円になる。

これまで清眺苑の介護サービス費等で人件費、管理費は殆どまかなって来ているので当面の人件費は多く支出することになるのではないかと。建築費との関係でプラスになる時期はいつか。

**答** 詳しくどの時点になれば市として民営化してプラスになるかという定期的な計算はしていない。

### 陳情

#### 採択

◎地方消費者行政の抜本的拡充及び法制度を求める陳情

◎介護保険制度の抜本的改善を国に求める陳情書

◎医師、看護師不足を解消し安心して地域医療を進める為に国、県に意見書提出を求める陳情書

◎陳情書特別教育支援員の配置について

**継続**  
◎後期高齢者医療制度中止、撤回の意見書採択を求める陳情

◎引き続き調査が必要として継続審査

◎市立田沢湖病院の存続方について

◎本質的な議論を継続してする為継続審査

**陳情書**  
◎テニスコートの建設について

◎現地等調査の為継続審査



陳情が継続となった市立田沢湖病院

## 産業建設常任委員会

当委員会に付託された案件は、議案13件、請願1件、継続分を含めた陳情4件、計18件である。

**仙北市企業立地の促進による固定資産税課税免除の一部改正について**

**問** 条例の一部改正により免除措置の要件はどのように改正されるのか。市として固定資産税の減収分はどうか。

条例が制定されることにより企業誘致が促進される見通しはあるか。

**答** 今回の改正は課税免除である。事業者はあらかじめ、知事の承認を受ける。家屋、構築物、土地の取得額が、製造業は5億円から3億円に、その他の場合は3億円から2億円となる。農林漁業関連業種にあつては5千万円と緩和されている。固定資産税の減収分の一部について3年間、交付税で補填される。仙北市における製造業農林業関連で該当は今のところない。



指定管理者が田沢湖町観光協会に決まったフォレイク

#### 一般会計補正予算可決

**問** 花葉館源泉ポンプ故障による、源泉ポンプリース代、給湯ボイラー交換、温泉井戸洗浄工事一式合計2,536万円の高額な補正について、市と第三セクターの負担区分の見直しと他の第三セクターとの統一を図っているか。温泉供給については専門である企業局に委託できないか。

**答** 原則的には維持補修等の小破修理は使用している側の負担、大破修理は施設を所有する側の負担となっている。受益者負担について、各三セク

とも統一されていないので今後統一を図って参りたい。温泉の供給については企業局で扱っているのは温泉や水道の元を確保し配給して企業することであり、三セクの場合その施設でしか使わないため施設者の管理が望ましいと考える。

**公の施設の指定管理者について、原案を可決**

◎仙北市田沢湖観光情報センター(フォレイク)

◎田沢湖町観光協会へ指定

◎角館駅前広場観光振興施設

◎角館町観光協会へ指定

◎角館中心市街地活性化支援センター(かつらぎ)

◎仙北市商工会へ指定

◎仙北市角館西宮家

◎仙西宮家へ指定

◎仙北市都市農村交流施設(ハートハーブ)

◎(株)アロマ田沢湖へ指定

◎仙北市交流促進センター、地域特産物提供体験施設、交流滞在施設、曲家、森

林総合施設  
◎(株)花葉館へ指定

### 陳情

#### 採択

◎生活道路及び作業道路整備に関する陳情(田沢湖神代地区)

◎「協同労働の協同組合(仮称)」を求める陳情

◎燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願

◎労働者派遣法の改善のため意見書を提出することを求める陳情

#### 継続

◎市道の改良舗装について(田沢湖神代地区)



給湯ボイラー交換等2,500万円予算措置の花葉館

# 動き

## 特別委員会

### 議会は最大限の努力を！ 秋田内陸縦貫鉄道存続に関する 調査特別委員会

11月18日開催の第10回特別委員会において、特別委員会での「経過について」を全員協議会の場で説明することが決定され、議長に対しその開催を要請し、11月25日全員協議会が開催された。

委員長より特別委員会での10回に及ぶ会議の経過説明がされ、質疑の後



最大限の努力を決定した  
内陸線存続

議員から意見が出され、集約の結果、仙北市議会として内陸線存続に関する意思表示をすることでもとまった。

内容については、議長と特別委員会委員とで議長からの試案について協議し、満場一致により議長の試案について決定され、議長案が全員協議会の場に示され、議会の意思として表明することとなった。

### 「再生計画の実現に向け最大限の努力をすることを確認」

- 一、経常損失等の負担割合の見直し
- 一、公有民営化方式の是非論
- 一、観光路線化への改善と方策

以上3項目については速やかに関係機関と協議することでも合意した。

### 市立病院等経営に関する 特別委員会報告

特別委員会は、平成20年12月定例会に中間報告を提出した。その主な内容は、市立病院等改革推進計画策定委員会では田沢湖病院と角館総合病院の経営、管理の一元化病院事業管理者設置のほか、田沢湖病院の診療所化の方向が示されたことから、市民への説明会と意見募集が実施された。その多くは、田沢湖病院の存続、救急再開、医師確保、経営改善などである。

特別委員会では、田沢湖病院は外来機能を重視した診療に、日中救急を再開するという説明であるが、これまでと変わらない医療スタッフ体制になるのではないかと、田沢湖病院長より、障害者施設等一般棟棟化で経営改善を図る提案は重く受け止め、3年間、場合によっては5年間の移行期間があることから施行の結果、最終決断でき



病院存続・救急再開で論議中の市立田沢湖病院

るのではないかの提案がされた。改革は5年間の移行期間があり、田沢湖病院からの提案は一定のトライアル期間を設けてやっていたら必要もあるし、改革プランは軌道修正することもやぶさかでない。当然行政なり議会が検討の上、進めて行くことになる。

### 桜まつり臨時駐車場料金の 事務処理に関する調査特別委員会 監査請求決議を議決！

平成19年度桜まつり臨時駐車場料金の不適切な取り扱いは、9月定例会の市政報告で明らかに

なった。議会は地方自治法第98条による事務検査が必要と判断した。特別委員会が設置され、質問書を基に事実解明にあたった。

シルバー人材センターへの支払額113万690円の取り扱いである。補正予算措置もせず、おまつり実行委員会から借用して支払いを済ませたが、その借入金に戻すため、本来一般会計に入る駐車場料金88万円を別



不認定の原因となった  
桜まつり臨時駐車場

通帳に管理し、職員の積立金25万690円と合わせ穴埋めをした。

平成19年度一般会計は88万円が歳入欠陥となった不適正な決算となった。また職員の不始末とはいえず、法的にはありえない職員の自己負担で穴埋めをした。この事実についても当局は認めた。この二つが会計法上違法であり、不適正な決算処理として、担当職員を相当の処分をした。特別委員会はさらなる解明を監査に託し、議会最終日に監査請求を多数決で議決した。

議会最終日に教育委員の人事案件が提出された。前任者に代わる新たな人選であった。議会は全会一致で案件に同意した。

**教育委員千葉勇氏から安部哲男氏に！**



安部哲男氏 (67歳)

田沢湖生保内字武蔵野105の737  
平成17年〜現在 仙北市教育相談員

**「農業委員」**

平成20年12月19日付けで任期満了となる仙北市農業委員の選任にあたり、議会推薦の依頼があった。議員から選出する委員と地域から推薦の委員を選んだ。

**議会選出は沢田信男議員**



沢田信男氏 (66歳)

仙北市角館町蘭田



藤川栄氏 (58歳)

仙北市田沢湖角館東前郷



佐々木英政氏 (54歳)

仙北市角館町下中川原



新山昌樹氏 (71歳)

**「地方自治功勞」**

仙北市西木町  
今後益々の活躍を祈る  
永年の功績が認められ、今年度の秋田県自治功勞者に仙北市から3氏が選ばれた。



門脇兵一元市議 (西木町)

議員歴32年



佐々木章副議長 (角館町)

議員歴27年



田口勝次議員 (角館町)

議員歴25年

## 会派紹介 政真会 (せいしんかい)

多くの課題に対し政策提案をし仙北市の発展と議会人としての責務を果たすべく行動と実行の会派であります。市民、行政、議会が共に結集しなければ仙北市の数多くの施策が発揮できません。常に一人、一人が真心での発信と行動を誓っております。メンバーの構成は、田沢湖地区1人、角館地区2人、西木地区1人の4人で構成されています。合併前から永年行

政経験の豊富な方々が集まっています。

主な活動は、毎月2回、議会前は必ず勉強会の開催をしており、又会派研修として昨年7月には山

## 市民の立場に立った政策集団

形県酒田市で豚の飼料として利用する「食糧自給率向上モデル・飼料用米プロジェクト」に取り組んでいる平田牧場を訪れました。消費者と共に平

田牧場が考えたのが水田転作としての飼料用米でありそれを豚に与えることによつて水田を守り、高品質で安全・安心な豚肉を生産している取組でした。又10月には、ニンニクの生産額で日本一を

策などありましたが今や作付面積179ヘクタールで生産額4億6千万の成果を上げております。両研修を通じて感じたことは、適地適産による自給率向上と行政、生産者団体、生産者が一体となった取り組みが重要なことと痛感してまいりました。今後は、会派の議論、研修にとどまらず、市民との意見交換を積極的に進めていきたい。

(代表 浦山敏雄)

## 編集後記

13号の原稿〆切日の1月8日、広報委員会開会前に丁委員から一言。

「議会広報の紙質が良くない。特に表紙写真などはまるで見栄えがしない。市の広報に比べても紙質が劣る。同じ程度のものを使えないか。」

議会事務局職員。「1頁当たりの単価が違うのでこのような紙質になっている。」

「市広報と同程度の紙質を使用すると1頁単価がどれ位になるか。」

その後印刷会社の好意により上質な紙を使用出来ることになった。

